opusdei.org

## 「忠実な良きしもべ ヨハネ・パウロ2世を 与えてくださった神 に感謝しましょう」

オプス・デイ属人区長ハビエル・エチェバリーア司教の属 人区の信者と協力者に宛てた 手紙

2005/04/04

イエスが私の娘たちと息子たちをお 守り下さいますように! 愛する皆さん。私たちの愛する教皇ヨハネ・パウロ2世の悲しむべき帰天への心の備えを、少しずつしてきました。教皇様は、その苦しみ一ことに最後の数年間一を通して、心の平和と喜びに満ちた神との一致の証を、世界に示してこられました。

教皇様が重態に陥った先週水曜日以来、世界の隅々からの信仰に満ちの 者である方のそばに集まって、教会全体は最高のまって、教会を体は最いまって。 を使徒たちの宣教の書に描いまれた。 をなるために平屋に入れたとされるとするたとが、再び繰りにきれるにないた。 「教会では彼のためにました。「教会では彼のためにまなが神にさらずられていた。」 (使徒たちの宣教12,5)

ペトロの後継者に対する祈りは、この数日間教皇様の力の源となっただけでなく、私たちとキリストとの一致、またその花嫁である教会との一

致をより強いものにしました。なぜ なら、私たちが神の子の大きな家族 の一員であり、この地上に一人の父 親を持っているということを、カト リック信者があらためて実感する機 会となったからです。それと同時 に、私たちと共に祈りをささげた他 の多くのキリスト者をはじめ、心あ る数多くの人たちとの親しさを感じ ることができました。このような素 晴らしいことすべてをくださり、本 当に良き忠実なしもべであられた教 皇ヨハネ・パウロ2世を与えてくだ さった神に、感謝をささげましょ う。

オプス・デイにおいては、ヨハネ・パウロ2世に対して感謝をささげる たくさんの理由があります。私たち のパドレは、キリストの代理であ り、地上における主の代行者である という単純かつ最大の理由で、どな たであれ教皇様を熱烈に愛するよう 私たちに教えられました。しかしな

がら、ヨハネ・パウロ2世が最高の牧 者であった間、その深い内的生活 — 触れることができるほどの! ― とい う模範が、忠実に従うという子とし ての義務をカトリック信者が果たす ためにどれほどの助けになったかを 考えると、教皇様に対するこの敬愛 の心は、より一層強いものとなりま す。また、人々に奉仕する時の喜び や、すべての人々への愛。さらに は、オプス・デイを属人区として設置 されることを通して、教会の小さな 部分であるオプス・デイを、神の望み 通りに私たちが実現していくよう に、父として要求してくださったこ とも忘れるわけにはいきません。

この世界において、教皇様が持っておられた霊的かつ精神的な名声については、私たちも知っていたつもりでした。しかしながら、ここ数日間マスコミが大きく取り上げる様子を見ることによっても、カトリック信者以外の人も含めて皆が、ubi

Petrus, ibi Ecclesiaペトロがいるところに教会がある…という真理に接することができたと言えます。そして今、神への寛大な献身の年月を経て、最高の牧者としての役務をどれほど見事に、かつ効果的に果たされたかを、はっきりと見ることができます。

人々への絶え間ない心遣いと、キリ ストに向かってすべての人が心の扉 を開くよう招き続けたことに報いる ため、三位一体の神が天国の扉を大 きく開け放って教皇様を迎えられた ことを、私たちは確信しています。 同時に、深く落ち着いた感謝を込め て、その霊魂の永遠の安らぎのため に、祈りをささげましょう。オプス・ デイにおいて、このような時にはど のようにするべきかについて聖ホセ マリアが定めたこと以外に、ヨハネ・ パウロ2世への祈りにおいて寛大で あるよう皆さんに勧めます。すでに これまでに経験したように、その祈

りはく往復>の祈りとなることを確信してください。天に昇ったその祈りを、あふれるばかりの恵みの雨に変えて、主が返してくださることでしょう。

子供たちよ、神のかたわらからヨハ ネ・パウロ2世は、私たちを招き続け ておられます。「起き上がりなさ い!行きましょう!」と。私たちが 毎日、キリスト者としての道のりを きっぱりと歩み出す決意を新たにす るためです。「沖に漕ぎ出しなさ い!| (ルカ5,4)と、私たち一人ひ とりに呼びかけられています。教会 の忠実な子供として、キリスト者で ある私たち皆が、世界という大海に 漕ぎ出さなければなりません。それ は、キリストが私たちに託された共 同のあがないという任務を、中途半 端にではなく、完全かつ決然とした 献身によって果たしていくためで す。

聖霊の導きによって、枢機卿たちが 集まるコンクラーベが新しい教皇聖 下を選出すると、habemus Papam! (教皇様がおられます) という知ら せを耳にします。今からその道を準 備しましょう。新しく選ばれる教皇 様が、すべてのキリスト者のあふれ んばかりの祈りと犠牲によって拓か れ準備された土地を目にすることが できるよう、ヨハネ・パウロ2世に神 への取次ぎを願いましょう。どなた であれ、今から全力でお愛ししま しょう。そして、同じような状況で 私たちのパドレが言われていたよう に、その方自身とそのご意向のため に、すべてを ― 呼吸までも! ― お ささげしましょう。

空位が続く間、私たちの創立者が 『拓』の中で勧められた射祷が役に 立つかもしれません。「(…)歴史 上の時期が数多くあるが、忠誠につ いてのあなたの考えこそ、そのよう な時期にピッタリすると思った。 『一日中、心と頭と口で、ローマ! という射祷を繰り返している』と、 あなたは書き寄越したのだった。」 (『拓』344)

心からの愛を込めて祝福を送りま す。

皆さんのパドレ

†ハビエル

ローマ、2005年4月3日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zhong-shi-naliang-kishimobeyohanepauro2shi-woyuetekudasatsutashen-nigan-xieshimashiyou/(2025/11/21)